

神経生理学特論

選択 2単位

早川 友恵

1. 授業の概要(ねらい)

ヒトの心理現象の主体である中枢神経系の基本構造・神経活動の基礎およびその機能的役割を解説し、「こころ」の成立と病態およびその評価方法に関する最新の研究を紹介する。

2. 授業の到達目標

中枢神経系の基本構造・機能とこころの関係を理解し、その評価方法が実施できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

試験成績・授業参加状況等を合わせて、学期末に総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特に指定しない。授業時に必要に応じてプリントを配付する。

参考文献

金澤一郎(監修)、宮下保司(監修) 『カンデル神経科学』 (メディカルサイエンスインターナショナル)
ジョン ビネル(著) 『ビネル バイオサイコロジ—脳 心と行動の神経科学』 (西村書店)

5. 準備学修の内容

授業テーマに沿った発表を行なうに際し、十分な事前調査を行い、充実したプレゼンテーションができるよう準備をしておく。

6. その他履修上の注意事項

事前学習を欠かさず、積極的な態度で臨んで欲しい。

7. 授業内容

- 【第1回】 「こころ」の成立基盤 ヒトの中枢神経系の基本構造を学ぶ。
- 【第2回】 「こころ」の成立基盤 神経生理の基本を学ぶ。
- 【第3回】 後頭葉機能を理解し、その評価方法を学ぶ。
- 【第4回】 側頭葉機能を理解し、その評価方法を学ぶ。
- 【第5回】 頭頂葉機能を理解し、その評価方法を学ぶ。
- 【第6回】 前頭葉機能を理解し、その評価方法を学ぶ。
- 【第7回】 ストレスの生理機能と評価方法を学ぶ。
- 【第8回】 自閉症の脳機能特性を学ぶ。
- 【第9回】 注意欠陥多動性障害の脳機能特性を学ぶ。
- 【第10回】 限局性学習症の脳機能特性を学ぶ。
- 【第11回】 精神疾患の脳機能特性を学ぶ。
- 【第12回】 ストレスの脳機能特性を学ぶ。
- 【第13回】 最新の神経科学研究のトピックスを学ぶ。
- 【第14回】 最新の神経科学研究のトピックスを学ぶ。(オンライン)
- 【第15回】 まとめ